

事例 NO.45		
事業の種類	建築物	
環境配慮の概要	エネルギー・資源・廃棄物などの環境に配慮し、自然環境と調和した「環境共生住宅」の建設	
事業名	世田谷区深沢環境共生住宅（環境共生住宅建設推進事業の第1号モデル事業）	
事業主体	世田谷区	
実施場所	東京都世田谷区深沢4-17	
実施期間	平成4年12月～平成9年3月	
事業概要	全体事業費	約2,000百万円（うち環境共生部分80百万円）
	施工区間等	実施場所に同じ
	事業の目的・経緯等	都営住宅の建て替えに際し、エネルギー・資源・廃棄物などの面で環境に配慮し、自然環境と調和した「環境共生住宅」として建設した。建設計画および建築材料、工法、維持管理、廃滅等ライフサイクル全般で環境に配慮している。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>(1) 外気への開放と断熱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏は風が通るよう、冬は日が当たるよう建物の配置を工夫</li> <li>風光ボイドという縦穴を設け、1住戸が3方向で外気と接するよう設計</li> <li>断熱のため屋上緑化や壁面緑化</li> </ul> <p>(2) 自然エネルギー等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一部施設において太陽熱をソーラーパネルで集熱、床暖房と給湯に利用</li> <li>太陽光発電を利用した外灯を設置</li> <li>風力により発電し、ピオトープの水循環ポンプの動力として利用</li> <li>一部施設において雨水を貯溜槽に溜めトイレに活用。バルコニーに雨水タンクを設置し、植物の水やり等に使用</li> <li>既設の井戸を残し、ピオトープの水源や災害時に利用</li> <li>雨水浸透枳の設置、透水性舗装</li> </ul> <p>(3) 廃棄物・ゴミの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建替前の廃材を外構工事に利用</li> <li>建設発生土が少なくなるよう地形に合わせた地盤面。発生土は別事業に活用</li> </ul> <p>(4) 周辺環境や自然環境との調和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内の樹木はできるだけ保存、移植</li> <li>池と草地のピオトープを設置</li> <li>共同の花壇を整備</li> </ul> <p>(5) 居住者の維持管理への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会を設置し、清掃、草取り、緑の維持管理を実施</li> </ul>	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>風通しのよさと、屋上緑化等の断熱効果でエアコンの使用が少ない。</li> <li>移植した樹木の活着状況は良好。果樹に実がなった。</li> <li>池にトンボ等が見られた。</li> </ul>	
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>公営住宅ではあるが、居住者の積極的な関わりにより清掃や草刈などの維持管理作業が行われている。</li> </ul>	

